

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

東 の 飛 鳥 国 分 寺 地 区

令 和 7 年 6 月 1 日

栃 木 県 下 野 市

計画の名称	東の飛鳥国分寺地区都市再生整備計画			重点配分対象の該当	☐
計画の期間	令和3年度 ～ 令和8年度 (6年間)	交付対象	下野市		
計画の目標					

計画の成果目標（定量的指標）	
・史跡及び公園滞在時間比率の増加 ・史跡及び公園来訪者数の増加 ・地域コミュニティ活動の増加	：歴史的風致の資源に触れられる空間での滞在時間の増加により、史跡及び公園来訪者の満足度の高まりを評価する。 ：既存及び新規イベントと公園内の主要施設における来訪者数の増加により、公園再生による来訪機会の向上について評価する。 ：市民や各種団体等による地域での活動回数の増加により、交流環境の改善度について評価する。

定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考	
								当初現況値	中間目標値	最終目標値		
								(R1当初)	(R5末)	(R8末)		
史跡及び公園滞在時間比率：史跡や公園で1時間以上滞在する来訪者の割合								67.6%	68.5%	70.0%		
史跡及び公園来訪者数：2つの史跡及び天平の丘公園で開催される主要イベント、公園内施設「風土記の丘資料館」「夜明け前」の来訪者数								273,000人/年	276,000人/年	280,000人/年		
地域コミュニティ活動：地域に関係する市民・団体等が主体となって行われた歴史文化関連イベント等の年間開催数								3回/年	4回/年	6回/年		
全体事業費	合計 (A + B + C + D)	628.6百万円	A	628.6百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0.0%

A 基幹事業	
--------	--

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R3	R4	R5	R6	R7	R8				
A-1	都市再生	一般	下野市	直接	下野市	東の飛鳥国分寺地区都市再生整備計画事業	天平の丘公園 A=278,156㎡ 観光案内表示板 4ヶ所 市道6037号線 108m 花広場内ナイター照明改修 4基 桜保護柵設置 3箇所 史跡公園整備 4,129㎡ 市道2-22号線拡幅工事 260m 東の飛鳥国分寺魅力促進事業 等	下野市							628.6	4.22		
合計															628.6			

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R3	R4	R5	R6	R7	R8				
合計																		

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考
									R3	R4	R5	R6	R7	R8		
C-1																
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考
									R3	R4	R5	R6	R7	R8		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)	3.9	26.3	55.5	20.8	
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	
交付額 (c=a+b)	3.9	26.3	55.5	20.8	
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	0.0	0.0	
支払済額 (e)	3.9	14.8	55.5	16.9	
翌年度繰越額 (f)	0.0	11.5	0.0	3.9	
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0	0.0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。
※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面)

